

平成30年3月8日

公益財団法人 東京海上スポーツ財団

平成30年度 事業計画書

1. 基本方針

公益財団法人として、事業目的である「スポーツ、教育の振興に関する事業を行い、明るく豊かな国民生活の形成に寄与する」ことの実現に向けて、施設の活用とスポーツ交流事業の運営を中心に、あらゆる努力を行ないます。

資産を有効に活用しスポーツ関連施設の充実をはかるとともに、事業収入・運用収入の増大と費用の削減で収支の改善に取り組みます。

2. 平成30年度事業計画

(1) スポーツ・教育関連施設の設置、運営 及び スポーツ・教育等合宿の受け入れ

① 「那須スポーツパーク」

イ. 小学生から高齢者にいたる幅広い層の利用者に対して、サッカー、テニス、野球、ソフトボール、フットサル、グラウンド・ゴルフ、卓球等の各種運動施設、宿泊施設等を低廉な料金で提供し、スポーツの普及と振興に積極的に取り組みます。又、公式サッカー大会などへの開催会場の提供も引き続き実施していきます。

ロ. 天然芝3面と人工芝1面の合計4面のサッカー場を有する施設の強みを活かして、より多くのサッカー合宿客の誘致に努めてまいります。

② 「戸田艇庫」

イ. 戸田ボートコース沿いに位置する「戸田艇庫」は、ボート競技を行う高校・大学・社会人のクルーにとって格好の練習・合宿・競技参加の為の施設として広く利用されています。引き続き低廉な料金で施設およ

びポートを提供し、水上スポーツの振興に努めます。

(2) スポーツ交流プロジェクトの推進

スポーツを通じた青少年の育成、障がい者の社会参加、高齢者の健康増進、地域社会との交流等を目的とする「スポーツ交流プロジェクト」を推進します。

① スポーツ競技会、スポーツに関する体験会、講習会の開催

イ. 那須スポーツパーク

- 当法人が主催しているNSP(那須スポーツパーク略称)杯グラウンド・ゴルフ大会は、関東・東北地区から毎回 300 名近くのプレイヤーの参加があり、NSPグラウンド・ゴルフ友の会会員数が約 2,950 名となるなど、高齢者のスポーツ参加事業として定着していますが、更なる振興に取り組みます。
- 地元大田原市が取組んでいる高齢者の健康増進へ向けたグラウンド・ゴルフの普及に関し、「大田原市主催の公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会」を大田原市教育委員会生涯学習課と連携の下、NSP での開催を支援していきます。
- Jリーグ2部・栃木SCからコーチを招いて地域のサッカー少年や児童養護施設児童を対象にしたサッカー教室を実施します。
- グラウンド・ゴルフの講習会(主催:栃木県グラウンド・ゴルフ協会)、サッカーのナショナルトレセンや指導者講習会(主催:日本サッカー協会、栃木県サッカー協会)の開催を支援します。

ロ. 戸田艇庫

- スペシャルオリンピックス日本・東京のアスリートを招いてのボート体験会を実施します。

② スポーツ関連ボランティア活動の推進

イ. 東京海上日動火災保険(株)の運動部が行うスポーツボランティア活動(サッカー、バスケットボール、バレーボール、卓球、陸上)の事務局他の支援を行います。

ロ. 東京辰巳国際水泳場で開催される「全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳大会」の東京予選会および全国大会の運営ボランティアを東京海上グループから募集し、大会運営の支援を行います。

(3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

スポーツ・教育以外での「那須スポーツパーク」、「戸田艇庫」の利用を収益事業として推進します。「那須スポーツパーク」では企業の宿泊研修や市町村や地場企業との連携で、宿泊やレストラン部門の利用促進に取り組んでいきます。戸田艇庫では、東京海上グループレガッタを共催し運営支援を行います。

以上